

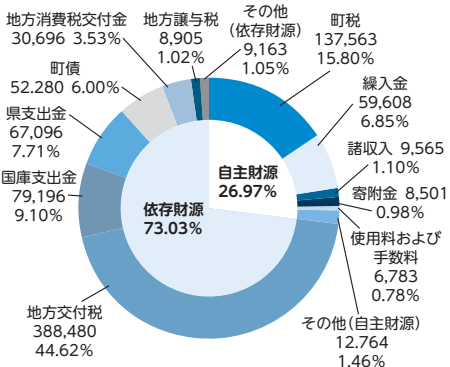
令和8年度 まちの予算

一般会計当初予算

令和8年度	87億 600万円
令和7年度	81億1,000万円
比較	5億9,600万円 (7.35%増)

令和8年度の当初予算が3月定例議会で可決されました。一般会計の予算額は、昨年度から5億9600万円増の87億600万円となり、当初予算額としては、合併以降、最大の予算規模となりました。「第4次伯耆町総合計画」に掲げる将来像の実現に向け、限られた財源を、真に必要な分野へ重点的に配分することを基本として編成しました。

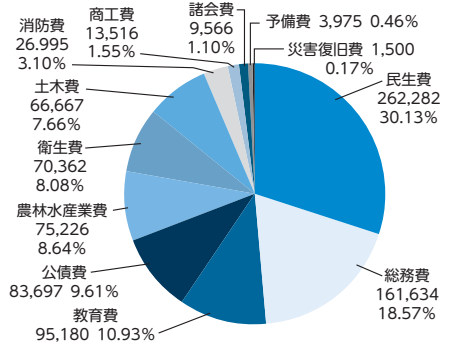
●歳入 合計 87億600万円



↑ 歳入のポイント

- 地方交付税は、物価、光熱費高騰への措置等により、前年度よりも1億2,780万円の増加を見込みました。本町の財源の44.62%を占めています。
- 町税のうち個人町民税は、給与所得増額等による所得割の増加を見込み、町税全体では前年度よりも2,505万円の増加となりました。
- 町債(町の借金)は、学校のLED化工事やケーブルテレビ通信機器更新事業等の実施により、前年度よりも1億170万円の増額となりました。

●歳出 合計 87億600万円



↑ 歳出のポイント

- 単町補助事業は、地域の持続力向上のため補助率を引き上げ、地域活動や生活基盤整備への支援を強化します。各集落から要望のあった補助対象分を全て予算計上しました。(144件、4,768万円)
- 総務費は、ケーブルテレビ通信機器更新事業、職員パソコン更新等の実施に伴い、前年度比2億482万円の増額となりました。
- 土木費は、町道改修事業、橋梁維持事業の増額等により、前年度よりも1億2,703万円の増額となりました。
- 教育費は、小中学校給食無償化、学校照明LED化工事等の実施により、前年度よりも1億8,405万円の増額となりました。

■ 企業会計

	伯耆町水道事業会計	伯耆町下水道事業会計
収益的収入	3億1,454万円	5億3,265万円
収益的支出	2億7,304万円	4億9,582万円
資本的収入	1億5,910万円	3億1,961万円
資本的支出	2億8,575万円	3億5,418万円

企業会計、特別会計の令和8年度の主な事業は、上下水道事業会計の適正な管理運営、老朽化した施設の改良更新、索道事業特別会計の索道施設の管理運営などです。

■ 特別会計

会計名	予算額
伯耆町町営公園墓地事業特別会計	640万円
伯耆町住宅新築資金等貸付事業特別会計	64万円
伯耆町地域交通特別会計	1億2,411万円
伯耆町丸山地区専用水道事業特別会計	887万円
伯耆町国民健康保険特別会計	13億2,050万円
伯耆町後期高齢者医療特別会計	2億4,575万円
伯耆町索道事業特別会計	3,641万円

令和8年度の重点事業

2 地域産業を育むまち

●地域連携ふるさと納税返礼品活性化事業

ふるさと納税の取組の強化・拡大のため、専門知識やノウハウを有した地域活性化起業家の受入れを行い、農工商・観光・文化・芸術などの連携や商品の掘り起こし・PR活動等を活性化し、持続的な産業振興を図ります。

●畦畔等除草合理化事業 (ラジコン草刈り機購入費)

軽トラックに積載可能なラジコン草刈り機を1台追加導入し、農業者の作業負担軽減を図ります。

●農作業用冷却作業服等購入補助事業

近年の高温、暑熱から農業者を守り、作業中の熱中症対策とするため、冷却作業服等の購入を支援します。



1 住みよさを感じるまち

●災害時移動式トイレトレーラー整備事業

大規模災害時において、避難所のトイレが使用できない場合にも対応できるよう、移動式トイレトレーラーを1台導入します。

●公式LINE導入事業

公式LINEの導入により、スマートフォンから手軽に情報取得やサービス利用が可能となる環境を整備します。簡易な申請の受付を行うなど、住民の利便性向上を図ります。



3 健やかで心豊かな人を育むまち

●こども家庭センター運営事業

全ての妊産婦、子育て世帯、こどもに対し、切れ目のない支援を行える相談支援体制を整備するため、子ども家庭センターを設置します。



●放課後児童クラブ運営事業 (放課後児童クラブ運営業務委託料)

安定的で効率的な放課後児童クラブの運営を図り、質の高いサービスを提供するため、令和8年10月から放課後児童クラブの民間委託を実施します。

●給食センター管理事務費 (学校給食費補助金)

国の政策による小学校給食無償化に加え、中学校についても給食を無償化し、保護者の負担軽減を図ります。



●小中一貫学力・人間力定着促進事業 (シビックプライド形成事業補助金)

「伯耆I学習」を柱としたふるさとキャリア教育を充実させ、地域と連携した学びを通じて郷土への誇りと愛着を育みます。子ども達がまちづくりの担い手として主体的に関わる取組を支援するため、「シビックプライド形成事業補助金」を創設します。

4 健康で安心して暮らせるまち

●インフルエンザ予防接種事業 (インフルエンザ予防接種負担金)

勉学等への支援を目的に、令和8年度より、19歳未満の者の2回目の予防接種についても助成を行います。



●認知症対策事業

オンラインによる認知症スクリーニング検査を導入し、早期発見・早期対応につなげます。



5 住民とともに創る持続可能なまち

●単町補助事業の補助率引き上げ

町単独補助事業の補助率引き上げにより、地域活動や生活基盤整備への支援を強化し、各集落で将来を考えるきっかけづくりになることを期待し、地域の持続力向上につなげます。



●移住等支援事業

移住コーディネーター1名、地域おこし協力隊1名を配置して移住相談窓口の設置とデジタル技術を活用した情報発進の強化を図ります。

また、伯耆町版空き家バンクを設置し、空き家の利活用促進を進めます。



●溝口地区移住定住調査事業

人口減少が進展する溝口地区において、地域活性化の担い手となる子育て世代の移住定住住宅や交流拠点の整備に向けて、民間の資金やノウハウを活用する方式の方が、公設公営方式よりも効率的であるかを検証・判定するための調査を行います。



問い合わせ先

総務課

0859-68-3111